

## 「GAP（適正農業管理）基礎講座」 受講生募集のお知らせ

山形県立農業大学校

### ■ 目 的

本県の地域農業をリードする農業経営者には、高度で専門的な技術に加え、戦略的視野に立って経営を実践する幅広い資質が求められています。そこで、GAP（適正農業管理）の認証制度や導入手順に関する基礎的な知識の習得と、実際の導入に向けた農場管理の是正ポイントや審査方法などに関する生産現場での事例研究を組み合わせ、実践的に学びます。

### ■ 講座の概要

#### ◆講師：田上 隆一 氏（「㈱AGIC GAP普及センター」代表取締役：茨城県）

2004年に世界標準のGAPを日本に初めて導入し、日本版GAP（JGAP）を構築し、NPO法人日本GAP協会の理事長となる。2008年にGAP普及センターを設立し、普及指導員や営農指導員などのGAP指導者養成と農業生産現場へのGAP普及に専心。「新版GAP入門」「GAP導入」「GAP導入事例」他、著書多数。現在、日本農業新聞に「GAP導入で生き残れ」を連載中。

#### ◆第1回 平成22年2月22日（月）10:40～14:40 【公開講座】

(1) 対象者 30名〔農業者等〕

(2) 会 場 山形県立農業大学校短期研修施設「緑風館」  
(山形県新庄市大字角沢 1366／TEL：0233-22-8794)

#### (3) 内 容

##### 講演①「GAP認証制度とは」〔10:40～12:10〕

GAPとは？、なぜGAPなのか、GAPの認証、  
GAPの実践に向けて、リスク検討と是正のポイント、GAPにおける記録

##### 講演②「GAP導入の手順」〔13:10～14:20〕

農場管理システム構築のポイント、団体事務局が行うこと  
農場管理規則の作成、農場管理マニュアル事例、農場管理規則の運用  
GAPの導入事例

③休憩 〔14:20～14:30〕

④質疑応答 〔14:30～14:40〕 参加者との質疑応答

#### ◆第2回 平成22年3月17日（水）13:30～16:30 【開催予定】

(1) 対象者 30名〔農業者等 ※ただし、最少開催人数10名以上〕

(2) 会 場 指導を希望する受講者の農場（第1回開催時に連絡いたします）

(3) 内 容（生産現場を見ながらGAP導入指導の事例研究）

##### ①事例研究 「GAP導入指導の現地検討会」〔13:30～14:45〕

GAP導入にあたり、農場管理の是正ポイント、農場の審査方法など現場指導

②休憩 〔14:45～15:00〕

##### ③リスク評価演習 「受講者ディスカッション」〔15:00～16:30〕

現地検討の結果を再評価し、受講者のリスク認識のスキルアップを図る

■ 応募資格 G A P 導入をめざす農業者等（2回とも受講できる方）

※第1回は本校の学生も参加します。

■ 募集定員 30名（先着順） ※第2回の最少開催人数は10名以上とします。

■ 参加経費 無 料

■ 申込・問い合わせ方法

「G A P（適正農業管理）基礎講座」参加申込書をF A X又はメールで、2月16日（火）まで提出して下さい。

<申込・問い合わせ先>

山形県立農業大学校 研修部

〒996-0052 新庄市大字角沢 1366

TEL&FAX 0233-22-8794

E-mail kenshu@ynodai.ac.jp

---

「G A P（適正農業管理）基礎講座」 参加申込書

（ふりがな）

氏 名： \_\_\_\_\_ 年 齢 \_\_\_\_\_ 才 \_\_\_\_\_

住 所： 〒 \_\_\_\_\_

連絡先： T E L \_\_\_\_\_ — \_\_\_\_\_

携 帯 \_\_\_\_\_

■ 第1回 [2月22日（月）10：40～14：40]

昼食（¥300円）申込みをしますか。（□に○印を記入）

有  無

■ 第2回 [3月17日（水）13：30～16：30]

自分の農場を事例研究会場として提供できますか。（□に○印を記入）

提供できます  提供できません

<申込先> 山形県立農業大学校 研修部

〒996-0052 新庄市大字角沢 1366

TEL&FAX：0233-22-8794

E-mail：kenshu@ynodai.ac.jp

2月16日（火）

締 切

F A X

T E L & F A X 0 2 3 3 - 2 2 - 8 7 9 4